

NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

4 月 ADP 雇用統計 74.2 万人（予想 90.0 万人・前回 51.7 万人⇒56.5 万人）

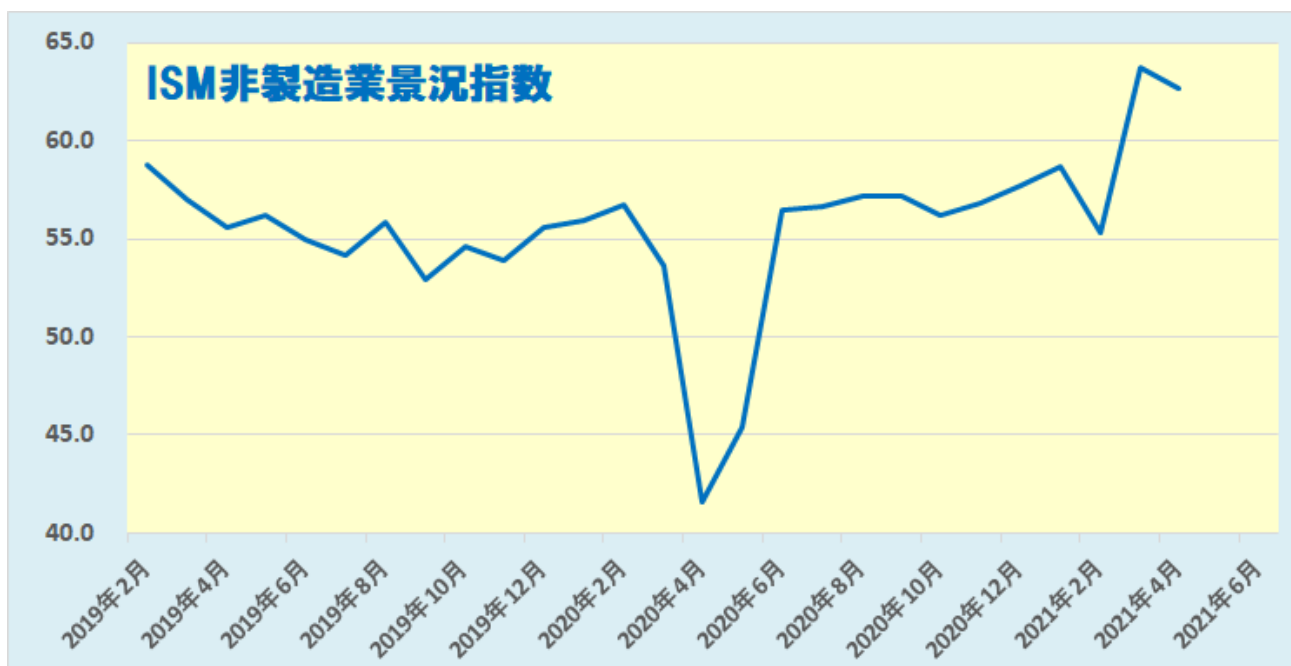
4 月の米 ADP 雇用統計では、雇用者数の伸びが市場予想を下回ったものの、7 カ月ぶりの大幅な伸びとなった。新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、経済活動の再開などを背景に、雇用の回復が進んでいることが示された。大半の業種で改善が見られ、特に娯楽・ホスピタリティー、貿易・輸送で大きく増加した。



データを基に SBILM が作成

4月ISM非製造業景況指数 62.7（予想 64.1・前回 63.7）

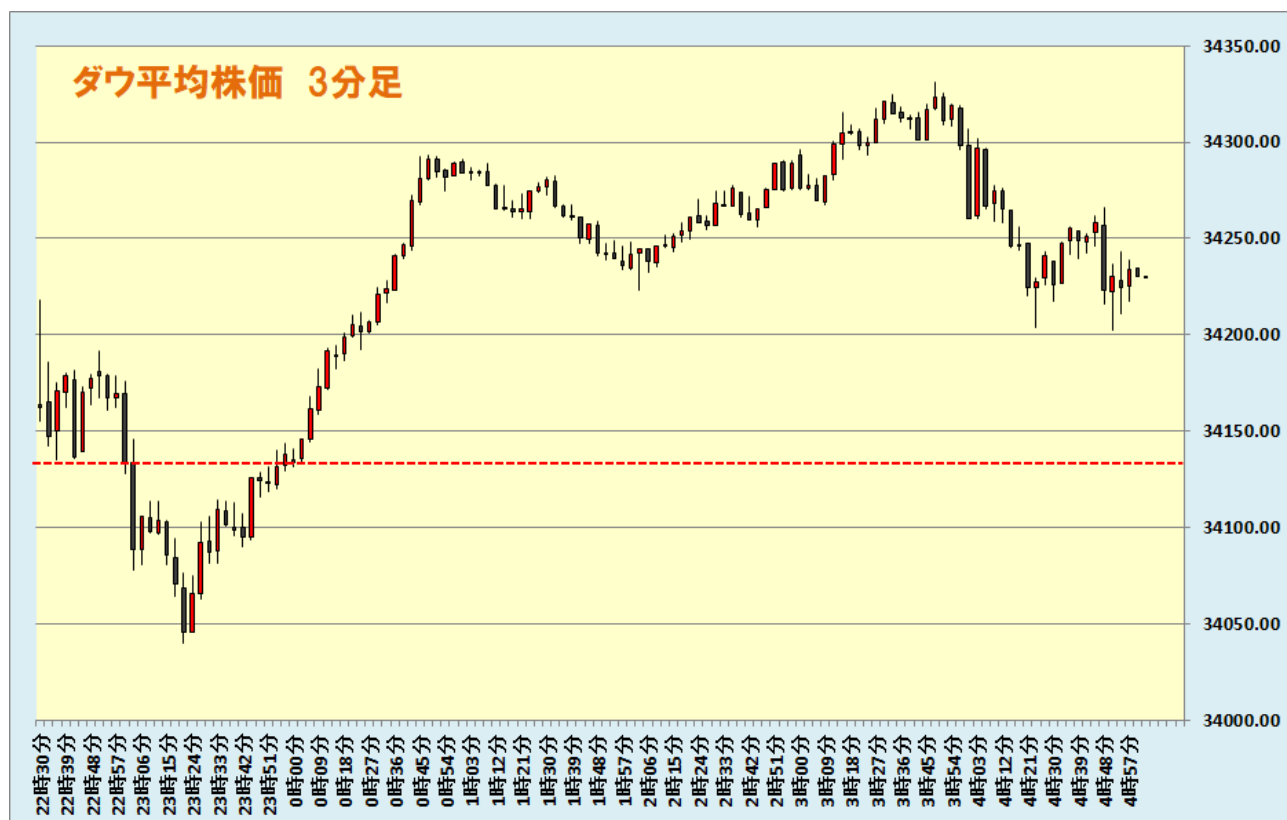
4月の米非製造業景況指数は、市場予想を下回り、過去最高を更新した前月から1.0ポイント低下となった。景況指数は62.7（前月69.4）、新規受注が63.2（67.2）、在庫が49.1（54.0）といずれも前月から低下した。一方、仕入れ価格は76.8（74.0）、雇用は58.8（57.2）と上昇した。4月は18業種中17業種で景況拡大を、1業種で景況縮小を報告した。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均株価は、取引時間中、終値ベースの最高値を更新

米株式市場では、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることを受けて、米経済の回復期待が高まっていることを背景に、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、終盤に一時前日比198ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。その後、上げ幅を縮小したものの、97.31ドル高(+0.29%)で終了し、終値ベースの最高値も更新した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、終盤にマイナス圏まで下落し、51.08ポイント安(-0.37%)で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	2.79%	1	DOW	2.79%
2	エネルギー	2.69%	2	シェブロン	2.69%
3	金融	1.59%	3	メルク	2.25%
4	通信サービス	0.47%	4	ゴールドマン・サックスG	2.22%
5	ヘルスケア	0.46%	5	キャタピラー	1.92%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円は上値の重い動き

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計で雇用者数の伸びが7ヵ月ぶりの大幅増となったものの、市場予想ほどの増加とはならなかったことから、ドルはやや上値の重い動きとなった。さらに、その後に発表された米 ISM 非製造業景況指数も高水準を維持したものの、市場予想を下回り、前回結果からも低下したことから、ドルの上値を圧迫した。ドル/円は、米長期金利の指標となる米 10 年債利回りが 1.624%から 1.566%まで低下したことも加わり、終盤まで軟調な動きが続いた。一方、クロス円もドル/円の動きに連れて上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。